

## 次期大会のご案内

# NEURO2024 大会について

2023年は本当に暑い夏でした。その暑い最中に第66回日本神経化学学会大会（今泉和則大会長）が、第64回日本神経病理学会総会学術研究会（望月秀樹大会長）との合同大会として開催されました。初めての組み合わせによる合同大会でしたが、基礎と臨床が非常にうまく融合した素晴らしい熱い大会となりました。来年は第67回日本神経化学学会大会です。秋になってから、準備も本格化しております。第67回大会は第47回日本神経科学大会（岡部繁男大会長）及び第46回日本生物学的精神医学会大会（山末英典大会長）との合同大会「NEURO2024」として開催されます。日本神経科学会とは2022年以来、日本生物学的精神医学会とは2018年以来となりますが、この3学会での合同大会は初めてとなります。会期は2024年7月24日(水)–27日(土)の4日間で、場所は福岡コンベンションセンター（福岡国際会議場及びマリノメッセ福岡 B館）です。この3学会は、それぞれがユニークな特徴を有しておりますが、基礎・応用・臨床研究領域における脳科学の継続的な発展に寄与する、という目的においては共通の方向性を有しております。今日の脳科学は、多様なテーマ、分野、領域をカバーしており、生物学、医学、薬学、工学、社会科学さらには人文学にも関わる幅広い知識と技術を身につけることが重要になっています。NEURO2024は、これら脳科学の多様性を体験するうえで大変有益なものになると考えます。

合同大会になりますので、多くのプログラムは3学会合同となります。ただし、日本神経化学学会のモットーである、分子で身体及び疾患を理解する、若手を本気で育成する、深いディスカッションをする、がふんだんに盛り込まれたプログラムにしたいと思っています。また本学会の独自企画、象徴的な企画も計画しています。例えば、若手育成セミナー及び道場は、ほぼ通常通りに行われる予定ですが（名称や形式の変更はありますが）、これらには日本神経化学学会の会員だけでなく、日本神経科学学会及び日本生物学的精神医学会の会員も参加する予定です。より多様な人達と、深いディスカッションをして、新しい交流を是非とも進めて頂ければと思います。

最後に、NEURO2024のテーマは「Deciphering the mind: Transcending borders for the future（心を読み解く：境界を越えて未来へ）」です。NEURO2024が、3学会の境界、サイエンスの様々な敷居を自由に超え、未来に向けた新しい脳科学を切り開く切っ掛けになる大会になることを切に祈っております。NEURO2024、どうぞ楽しみにしててください。またご協力をよろしくお願い致します。

第67回日本神経化学学会大会長  
小泉 修一